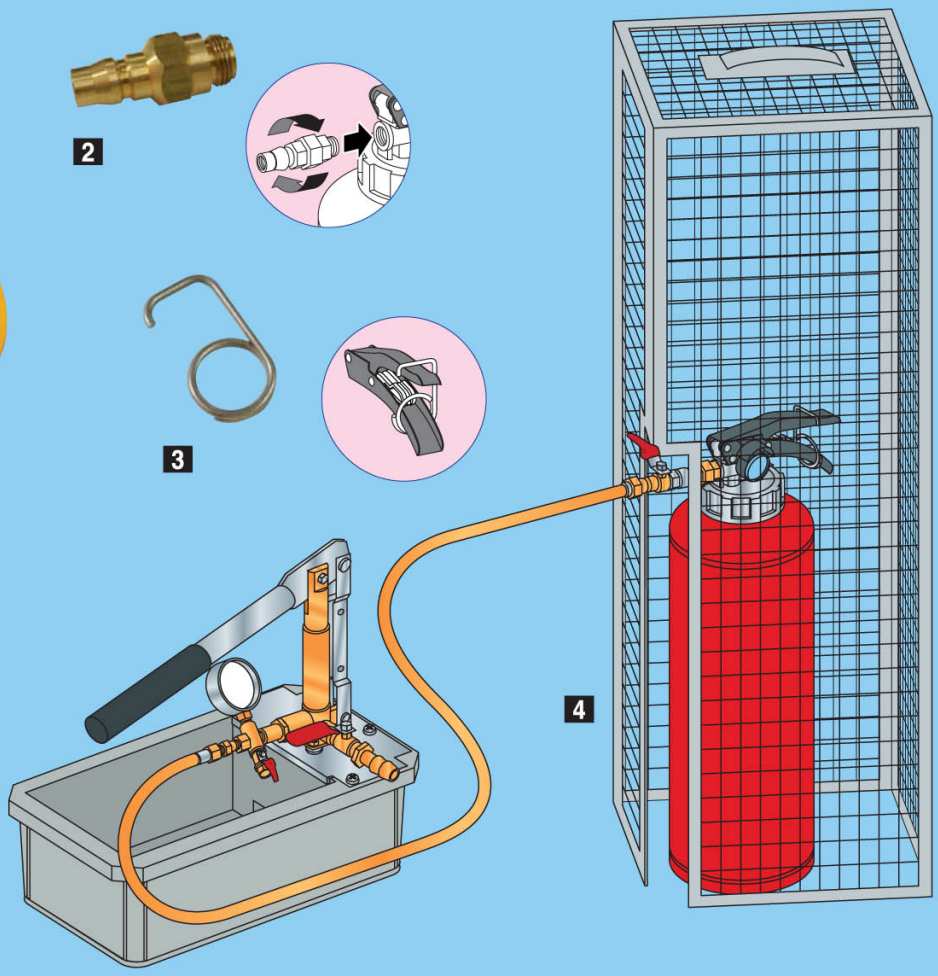
消火器容器
耐圧試験セットYPT-1のご案内



消火器容器
耐圧試験セット 内容

1	水圧試験機
2	耐圧試験接続金具
3	レバー固定金具
4	保護枠

本体セット価格（税別）

75,000円

商品コード　YPT-1

※実際の商品と異なる場合があります。

購入申込書

フリガナ		フリガナ	
御社名		ご担当	様
お届け先ご住所	〒□□□-□□□□　都道府県		
TEL	（　　）	ご注文セット数	セット

※ご記入頂きました個人情報につきましては、本件対応以外には使用いたしません。

⚠ご注文のFAXの前にご購入個数、ご連絡先などもう一度ご確認ください。

ご注文専用FAX.　　支店名

ヤマトプロテック株式会社

消火器容器の耐圧試験 方法 Pressure test

●用意する試験工具（準備用品）

⚠警告

●バルブカバーを金槌でたたいたり、スパナで一気に開けるのは危険です。こうしたことは決してしないでください。●著しい変形やサビの発生がある容器は耐圧試験を実施しないでください。破裂の危険があります。●破裂の危険がありますので耐圧試験値以上は充てんしないでください。

1 消火器の内圧の有無を確かめる。

[加圧式消火器の場合]

排圧栓の付いている消火器は、排圧栓をゆるめて圧力を排出してください。

[蓄圧式消火器の場合]

指示圧力計の針が0MPaになっているかを確かめ、消火器内に圧力が残っている場合は消火器を逆さにして振り、上下レバーを握り、圧力を排出してください。

●排圧時は粉末が放出されますので、ノズル先を放射袋等で受け、ゆっくりとレバーをにぎって排圧するようご注意ください。

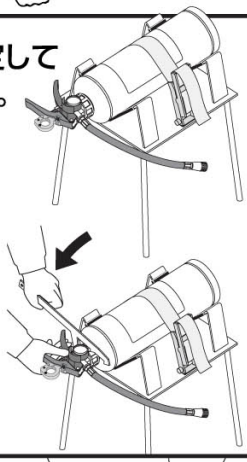
2 消火器をクランプ台に固定してバルブキャップをゆるめる。

① ベルトで消火器をクランプ台に、しっかり固定してください。

② レバーを支えながらバルブキャップを専用スパナで徐々にゆるめ取りはずし、容器内に残っている消火薬剤を抜き取ってください。

●バルブカバーを金槌でたたいたり、スパナで一気に開けるのは危険です。こうしたことは決してしないでください。

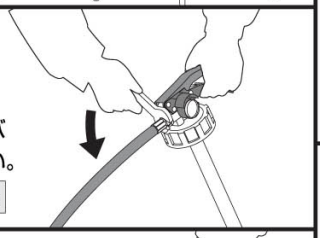
●エアブローは、消火薬剤を抜き取ってから行うことをおすすめします。



3 ホースを取りはずす。

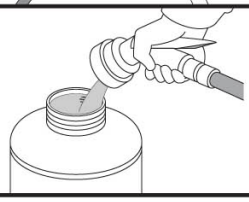
バルブからスパナでホースを取りはずし、バルブとホースにエアブローを行ってください。

●加圧式の場合は、加圧ボンベを取り外してください。



4 容器に水を充てんする。

容器に水道水を満タンにしてください。

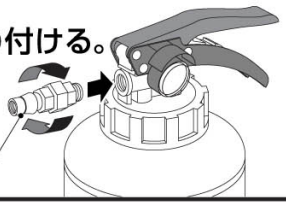


5 クランプ台に固定して締め付ける。

水が漏れない程度までバルブキャップを締めてから、消火器をベルトでクランプ台にしっかりと固定し、専用スパナでキャップを確実に締め付けてください。

6 耐圧試験接続金具を取り付ける。

圧力を充てんするための専用耐圧試験接続金具を取り付けてください。



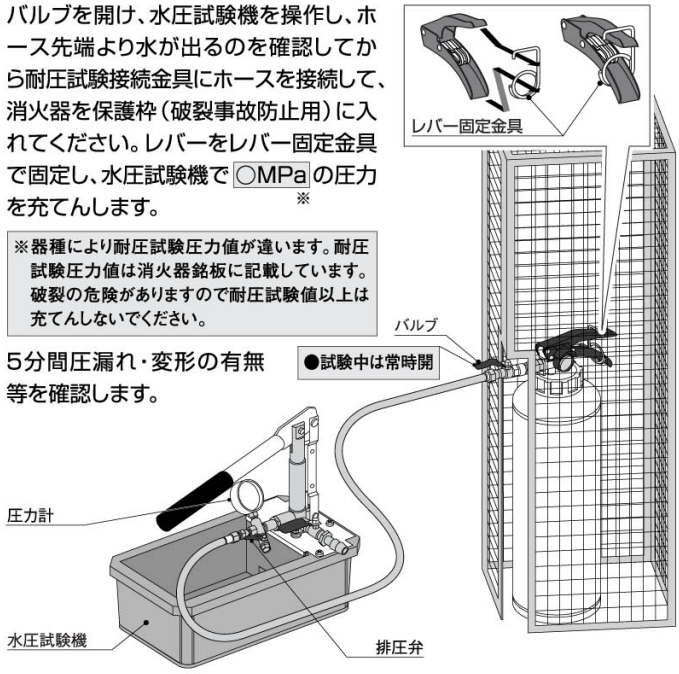
7 水圧試験機で圧力を充てんする。

バルブを開け、水圧試験機を操作し、ホース先端より水が出るのを確認してから耐圧試験接続金具にホースを接続して、消火器を保護枠（破裂事故防止用）に入れてください。レバーをレバー固定金具で固定し、水圧試験機で ○MPa ※ の圧力を充てんします。

※器種により耐圧試験圧力値が違います。耐圧試験圧力値は消火器銘板に記載しています。破裂の危険がありますので耐圧試験値以上は充てんしないでください。

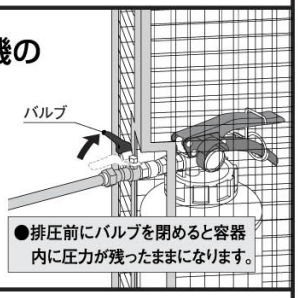
5分間圧漏れ・変形の有無等を確認します。

●試験中は常時開



8 圧力を放出し、水圧試験機のホースを取り外す。

レバーを握った状態、またはレバー固定金具を付けた状態で、水圧試験機の排圧弁を開けて、圧力を放出した後にバルブを閉め、水圧試験機のホースを取り外します。



●排圧前にバルブを閉めると容器内に圧力が残ったままになります。

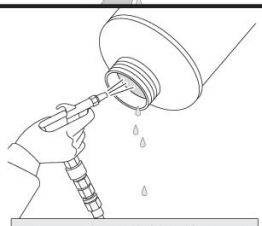
9 消火器をクランプ台に固定してバルブキャップをゆるめる。

手順2と同じ工程を行います。

10 バルブを取り出し容器内の水を排水する。

11 容器内・バルブ等を完全乾燥させる。

エアブローを行って容器内・バルブの水滴を取り除いてください。自然完全乾燥が望ましいですが、ドライヤー等で乾燥させる場合は、表面温度が50°Cを超えないように注意してください。



●ヒートガンは絶対に使用しないでください。

12 消火薬剤の再充てんを行う。

バルブパッキン等交換部品を用意し、正しい再充てんを行ってください。

ヤマトプロテック株式会社